

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024	10	18日	(記入者) 久門たつお	
取材参加者	荒井	垣内	神原	喜多	久門
	小西	齋藤	鶴田	横山	
取材対象先	吉野町：桜本坊の木造役行者坐像				

所在地	吉野郡吉野町吉野山1269				
所有者（取材 対応者）名	桜本坊 巽良仁住職 (個人情報守秘)		連絡先 桜本坊 0746-32-5011		
			PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：桜本坊				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造役行者坐像 1996（平成8）年5月29日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	自在に彫られた衣文は自然に流れ、温厚な表情ともども古様を残し、安定感に富んだ姿を呈している。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	消防法に基づき吉野消防署の指導に従って進めている。本堂では消火器を室内堂外に配置、火災感知器と火災報知機を設置している。	本堂に隣接する聖天堂、大師堂などでも消火器、火災感知器を設置していて、対策は充実していると見えるだろう。
獣害対策	被害の有無、対策など シカは近くに生息しているが、境内周りに柵、金網を設置して侵入を防いでいる。アライグマは以前見受けられたが、最近は見なくなった。	引き続き被害防止に努めていきたい。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	重文の役行者倚像、町指定の役行者坐象などが安置されている本堂と隣接して聖天堂、大師堂、大講堂などが廊下で接続しており、拝観しやすい配置となっている。このうち修験者らの合宿所や写経場などに使用される百畳敷きの大講堂は江戸時代の建物で、2017（平成29）年ごろから雨漏りが続いていた。資金不足を補ったのが2023（令和5）年秋に実施した桜本坊初のクラウドファンディング。短期間で県内外から目標の1500万円が寄せられ、屋根の修理や内裝修繕に役立てられた。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

本堂では護摩法要を行なっていて、法要終了後は消火の徹底、その後は設置カメラによる目視確認で本堂の状況に注意を払っている。建造物への落書きや油などをまくイタズラの抑止効果を上げるためにも防犯カメラの重要性は高くなっている。住職は防火・防犯設備設置への行政の助成金を希望されていた。多くの社寺の共通課題で、行政サイドも制度充実を図る段階ではないだろうか。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024	10月	18日	(記入者) 久門たつお	
取材参加者	荒井	垣内	神原	喜多	久門
	小西	齋藤	鶴田	横山	
取材対象先	吉野町：桜本坊の木造役行者坐像				

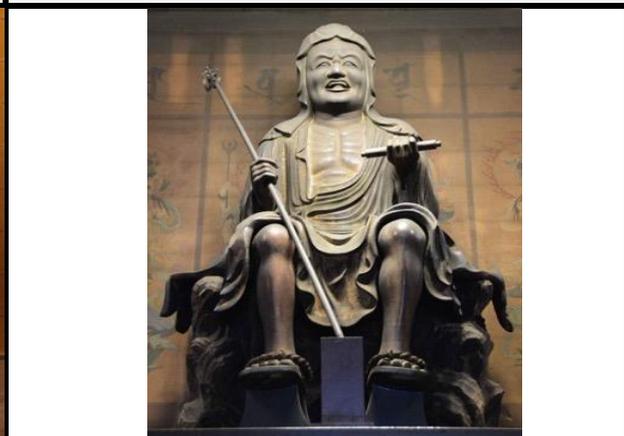
〈役行者像2躯と桜の写真は桜本坊提供〉

文化財指定名 木造役行者坐像

吉野町指定文化財の木造役行者坐像



重文の木造役行者倚像（鎌倉時代、像高146㍍）



2 軀の役行者像などを安置する桜本坊の本堂



桜本坊境内の「天武天皇 夢見の桜」



文化財の由緒などを記入

鎌倉時代（13世紀）の制作で、針葉樹の寄木造り、像高87㍍。長頭巾（ながときん）に內衣、法衣、鑑袈裟（かんげさ）を着け、結跏趺坐をしている。口を閉じ、口・あごひげを長く伸ばし、玉眼の両眼を見開いておられる。最初に大峯山上で祀られた役行者像はこのような老相で温和な坐像だったと考えられている。（桜本坊HPなどから）

所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入

桜本坊は竹林院、東南院などと並ぶ大峯山護持院の1つで、創建は天武天皇の時代。大海人皇子だった時に近江京から吉野に移った冬の夜、満開の桜の夢を見たという。皇子から夢判断を求められた役行者の高弟、角乘は「桜はわが国の花の王。夢は殿下が天皇に就かれる良い知らせでしょう」と。翌年、皇子は壬申の乱に勝利し、天武天皇として即位。天皇は夢に見た桜と出会い、近くに桜本坊と名付けた道場を建立したと伝わる。